

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

A事業①

「愛媛グローバルビジネス加速化支援事業」

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

本財団では、創業率の向上を目指し、えひめ中小企業応援ファンド事業や県単独事業による創業者等へ創業に必要な資金的支援や、本財団に設置するビジネスサポートオフィス、よろず支援拠点等による経営相談を行っており、愛媛県内において地域資源を活用し、地域課題を解決するビジネス（愛媛グローバルビジネス）を展開する創業・起業が増加しつつある。

このような中、更なる地域経済の活性化及び地域社会の持続的発展を目指し、創業者が展開する愛媛グローバルビジネスビジネスの早期事業化を促し、成長スピードを加速させることを目的として、経費的支援を実施する。

○支援対象者

愛媛県が実施する創業ビジネスプランコンテスト「EGFアワード」に応募し、かつ、本補助金の応募までに、県内において株式会社、合同会社、合名会社、企業組合、協業組合、特定非営利活動法人等（大企業及びみなし大企業は除く）の設立を行った、法人設立後5年未満の中小企業者

○助成率

助成対象経費の3分の2以内

○助成限度額

2,000千円以内／件

○助成期間

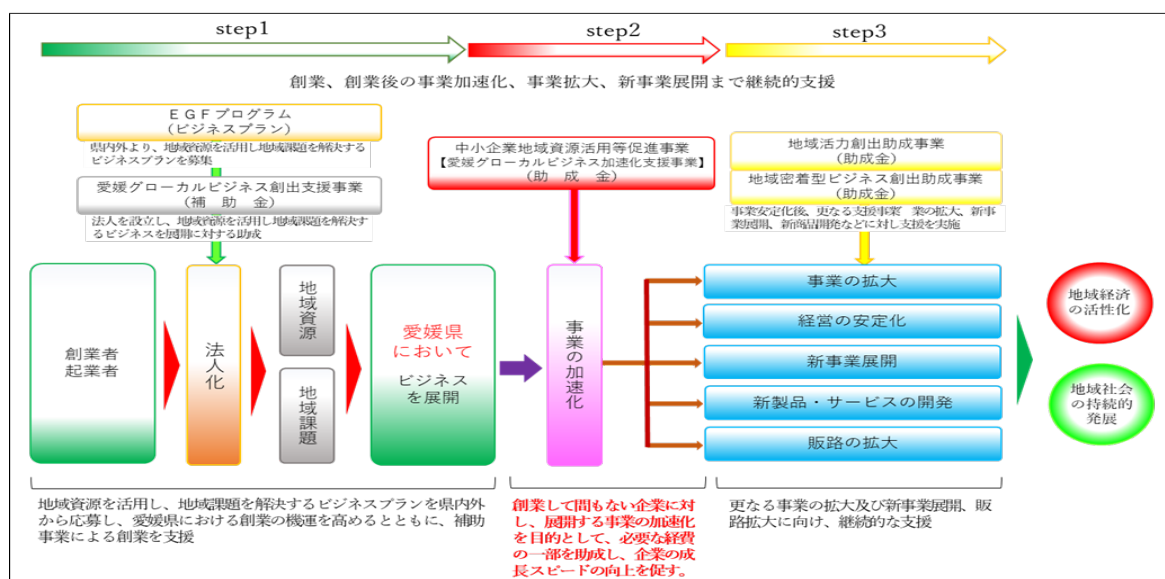
1年以内

○対象経費

人件費、店舗賃借料、原材料費、借料、知的財産権等関連経費、謝金、旅費、外注費、委託費、マーケティング調査費、広報費等

○助成件数

5件程度／年



【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

○実施事業の内容・実績

- ・助成件数
5件（応募15件）
- ・採択額
8,467千円
- ・決算額
8,467千円
- ・助成事業者一覧

（単位：円）

申請者	事業概要	採択額	決算額
(株)KIRI	農業に特化したアルバイトマッチングサービス「Alagri」（アイアグリ）事業	2,000,000	2,000,000
天神村醸造所（株）	愛媛県産ラムの商品開発と販路開拓、滞在型醸造ツアー実施	1,668,643	1,668,643
(株)ミカンワークス	クリエイティブ・ものづくり人材を育てるコワーキングスペース運営	1,257,562	1,257,562
(株)フェザソフイレール	鬼北町の特産品「鬼北熟成きじ」の生産拡大と高付加価値加工品の開発	2,000,000	2,000,000
※ (株)STILLIFE	大洲アーティストインレジデンスプロジェクト	採択取消	採択取消
企業組合愛南ジビエ	安心・安全なジビエ肉の提供と更なる販路拡大に向けた直接販売所の新設	1,540,795	1,540,795
計5件		8,467,000	8,467,000

※(株)STILLIFEは採択後、期限までに交付申請がなかったため、内示取消となった。

○実施した結果生まれた新たな課題等

採択後に急に連絡が取れなくなり、結果として、内示取消しせざるを得なくなった案件が生じたため、審査前ヒアリングにおいて、事業の実行可能性の観点から、人物評価・業務遂行能力の鑑別を強化していく。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

年5件程度の助成を行うという目標に対し、審査委員会で採択案件を審査していただいた結果、15件の応募の中から、6件の採択を行うことができた。（その後、1件内示取消し。）

今年度採択された申請者は、前年度に本財団の創業者向け補助金「愛媛グローバルビジネス創出支援事業費補助金」を活用、又は、愛媛県と本財団が共催するEGFアワード等の創業支援プログラムを活用して創業を行った中小企業者であり、創業期から本財団の創業コーディネーター等の切れ目のない伴走型支援を受けて着実に事業の高度化が図られ、成長スピードが加速している。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

応募件数については、前年度の11件から15件と着実に増加しており、次年度以降も申請書作成のための丁寧なサポートを行うことにより、募集案件の発掘に努めることとする。

また、応募案件については、採択を行う審査委員会の実施までに、当財団のビジネスサポートオフィス、よろず支援拠点の専門人材や創業コーディネーター等が応募申請者の事業計画のブラッシュアップ支援を着実に実施することにより、応募案件の質を高める支援にも引き続き努めてまいりたい。

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

A事業①

「農商工連携新商品開発助成事業」

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

愛媛県における農林水産業は、担い手の減少、高齢化の進行等が相まって、厳しい経営環境にあり、生産性の向上や付加価値の増大による所得向上が喫緊の課題となっている。

このような中、県内の恵まれた農林水産物（地域資源）を生み出す農林水産事業者と優れた食品加工技術を持つ県内中小企業とが有機的に連携し、新たな商品開発を行う取組みに要する経費の一部を助成し、県内農林水産物の消費拡大や中小企業の事業拡大を推進するとともに、地域経済の活性化を図る。

○支援対象者

農林漁業者と中小企業者又は自ら事業を行うNPO法人等の中小企業以外の者との連携体。（ただし、連携体を構成する者のうち県外業者（県内に本社又は事業所等を有しない者）は対象外。）

○助成率

助成対象経費の2分の1以内

○助成限度額

1,000千円以内/件

○助成期間

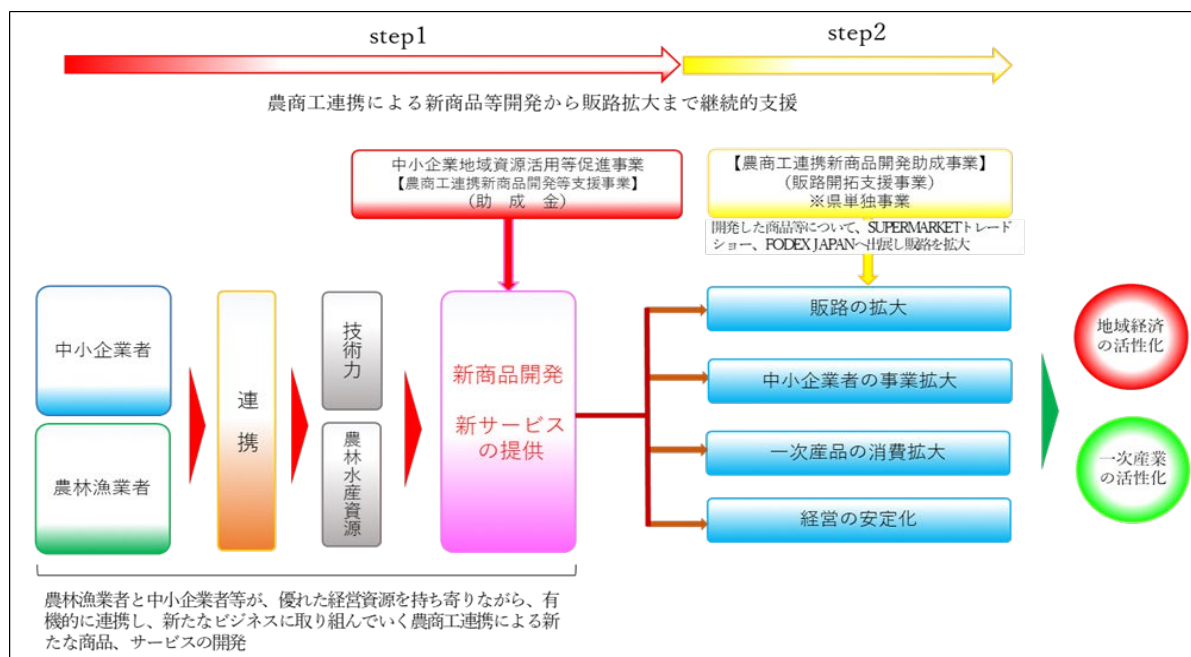
1年以内

○支援対象経費項目

備品費、原材料費、借料、知的財産権等関連経費、謝金、旅費、外注費、委託費、マーケティング調査費、広報費

○助成件数

5件程度/年



【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

- ・助成件数
5 件（応募 9 件）
- ・採択額
4,894 千円
- ・決算額
4,887 千円
- ・助成事業

（単位：円）

申請者（連携体）		事業概要	採択額	決算額
中小企業者	農林漁業者			
有限会社 sola	花澤家族農園 菓子工房 菓花舎	大三島産柑橘を活用した健康飲料・菓子等の開発、製造	1,000,000	1,000,000
grandpa's tree	はっきり農園	西条市産果物（いちじく、栗、柿）等のドライフルーツを活用したジャム開発	1,000,000	1,000,000
株式会社エフエム愛媛	越智今治農業協同組合	愛媛が生んだブランド農産物「媛かぐや」を活用した菓子の開発	1,000,000	1,000,000
R u b y	和泉農園	松山市北条産柑橘（伊予柑）やクロモジ、ヒノキ等を活用したフレグランスと加工食品の開発、製造	1,000,000	1,000,000
愛媛ハーブ株式会社	OrangeStore ニノミヤ	愛媛県産柑橘や蜂蜜を活用したフルーツハーブティーなどの加工品開発	894,000	887,000
計 5 件			4,894,000	4,887,000

○実施した結果生まれた新たな課題等

プロダクトアウト発想の商品開発が中心となるため、消費者のマーケットニーズを踏まえた開発商品のブラッシュアップなどに取り組み、開発された商品の販路開拓に努めたい。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

年 5 件程度の助成を行うという目標に対し、審査委員会で審査を行った結果、9 件の応募案件の中から、5 件の採択を行うことができた。

今年度採択された連携体の中小企業者の多くは、これまでも県内農林水産物を活用した特徴ある新商品開発を行った実績のある企業であり、本財団が愛媛県の委託を受けて設置する農商工連携ビジネスプロデューサー等の伴走型支援により、県内百貨店のギフト商品に採用される例もあるなど着実に事業の成果を挙げている。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

応募件数については、前年度の 6 件から 9 件と着実に増加しており、次年度以降も農商工連携ビジネスプロデューサーによる丁寧な制度案内等により、募集案件の発掘に努めることとする。

また、開発された新商品の販路開拓については、本財団が実施する首都圏のバイヤーを招いた商談会への参加を促したり、県が主催する百貨店等における催事への出展を促したりするなど、他事業とも連携することにより、消費者のマーケットニーズを踏まえた開発商品のブラッシュアップや販路開拓の取組みを後押ししてまいりたい。

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

A事業②

「愛媛グローバルビジネス加速化サポート事業」

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

地域資源を活用し、地域課題を解決するビジネスプランの早期事業化に向け、創業間もない企業が直面する課題を早期に解決し、事業化を加速させるため、「愛媛グローバルビジネスメンター」による伴走型支援を実施し、企業の基礎体力の向上、事業拡大、経営の安定化を目指す。

○支援対象者

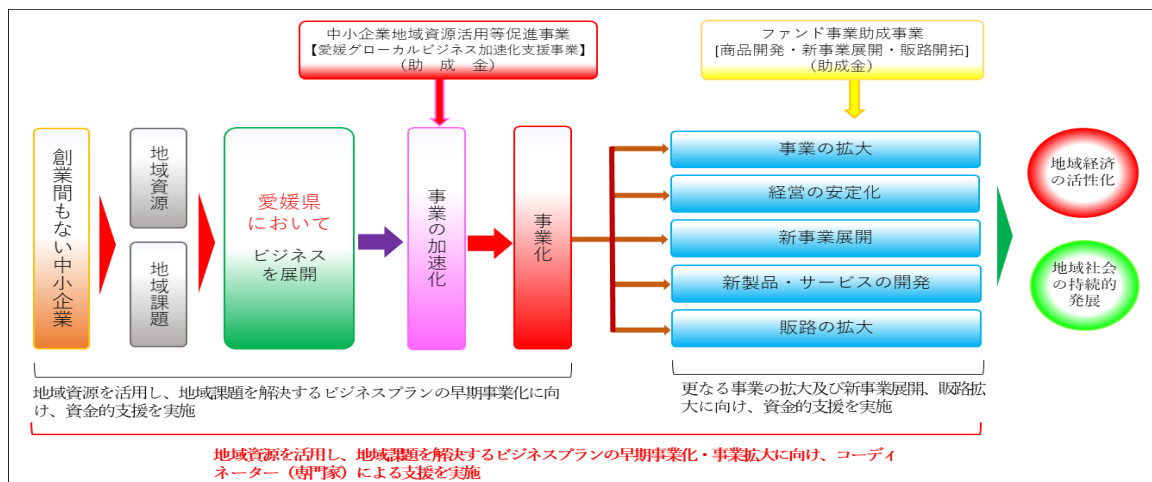
- ・愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金の採択者
- ・法人設立後5年未満の中小企業者

○対象経費

- ・伴走型支援に必要なコーディネーター謝金、旅費、通信運搬費

○支援対象件数

3件程度／月 30件程度／年



【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

○実施事業の内容・実績

・支援対象件数

37 件

・支援対象者一覧

支援時期	支援件数	相談内容	助成金結果
4 月	1 件	応募等相談・ブラッシュアップ	天神村醸造所(株)が補助金応募
5 月	17 件	応募等相談・ブラッシュアップ	(株)KIRI 等 4 社が補助金採択
8 月	3 件	進捗管理・実績確認 事業終了後等フォローアップ	-
9 月	5 件	応募等相談・ブラッシュアップ 進捗管理・実績確認 事業終了後等フォローアップ	-
10 月	2 件	応募等相談・ブラッシュアップ	-
11 月	5 件	進捗管理・実績確認 事業終了後等フォローアップ	-
2 月	2 件	進捗管理・実績確認 事業終了後等フォローアップ	-
3 月	2 件	進捗管理・実績確認 事業終了後等フォローアップ	-

○実施した結果生まれた新たな課題等

ビジネスメンターが関係機関の協力を得て「愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金」の応募案件の発掘に努めた結果、昨年度の 11 件を上回る 15 件の応募を確保することができ、競争原理を高めることができた。更なる案件発掘に努めたい。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

年30件程度の支援を行うという目標に対し、延べ37件の相談支援を行うことができた。

今年度採択された愛媛グローバルビジネス加速化支援事業の申請者の多くは、前年度に本財団の創業者向け補助金「愛媛グローバルビジネス創出支援事業費補助金」を活用し、創業を行った中小企業者であり、創業期から本財団のビジネスメンター等の切れ目のない伴走型支援を受けて着実に事業の高度化が図られ、成長スピードが加速している。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

応募件数については、前年度の11件から15件と着実に増加しており、次年度以降も申請書作成のための丁寧なサポートを行うことにより、募集案件の発掘に努めることとする。

また、応募案件については、採択を行う審査委員会の実施までに、当財団のビジネスサポートオフィス、よろず支援拠点の専門人材や創業コーディネーター等が応募申請者の事業計画のブラッシュアップ支援を着実に実施することにより、応募案件の質を高める支援にも引き続き努めてまいりたい。

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。

A事業①

えひめ中小企業等アクティブ・サポート事業【ものづくり産業支援事業】

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

県内の「ものづくり産業」全般を支援対象に、産官学が連携した研究部会を設置し、新商品の開発促進を目的とする。具体的には、県内ものづくり企業の新技術や製品の開発に必要な資材購入など試験費用を助成・支援する。また、新製品の企画・立案や製品開発の問題解決に関して助言・指導等を行う専門家の招へい等に対する支援を行う。さらには大型展示会の出展といった販路開拓に向けた取組みに対しても支援を行う。

この他、新たな支援企業等、新製品・新技術を発掘し、本事業終了年度以降の国の研究開発助成事業の獲得・活用を図れるよう支援に取り組み、更なる地域経済の活性化を目指す。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

別紙研究成果パネル

①「シキミ廃棄物を利用したリラックス用アロマ製品」研究部会

「シキミ廃棄物を利用したリラックス用アロマ製品」研究部会

株式会社村田 井内区人・空・棚田を生かす会 愛媛大学、愛媛県産業技術研究所

概要

価値観多様化、慣習形骸化に伴い、葬儀業は変化(終活、家族葬 オンライン葬等)するなか、葬儀に使用する品(線香、焼香、骨壺)もオリジナル性があるものが求められています。今回、産官学民が連携・協働し、東温市井内地区地域資源(キミ)の利活用を目的としたシキミ線香開発に取り組みました。

目的

産： 村田葬儀社
M U R A T A



民：井内区人・空・棚田を生かす会



官：愛媛県産業技術研究所

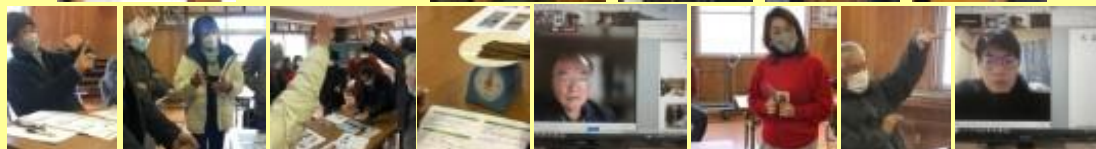
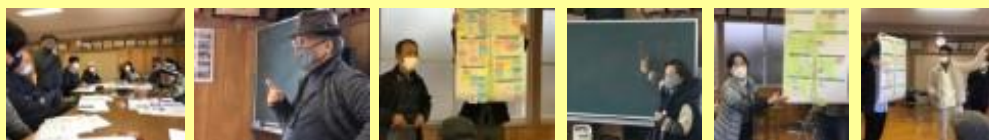


江戸末期、北川徳次郎が推奨して栽培が始
東温市井内地区地域資源 シキミ



内容

学：愛媛大学



デザイン思考によるデザインワークショップ（地域の現状課題、未来のあるべき姿、シキミの特徴、地域の想いの言語化、ネーミング、ビジュアル化、使用シーン等）

今後について

井内区人・空・棚田を生かす会が商品化を行い、（株）村田と連携した販売戦略に取り組めます。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」

②「雪温熟成野菜」研究部会

「雪温熟成野菜」研究部会

株式会社中温 愛媛県産業技術研究所 食品産業技術センター/企画管理部
高知工科大学 ものづくり先端技術研究所 産業技術総合研究所 四国センター

北陸などの多雪地帯では、栽培中の野菜を雪中に保存し越冬させる手法があります。雪中は常に温度0℃、湿度95%近傍で一定であり、この環境下で保存された野菜は糖度等が向上することが知られています。

不凍液で冷媒を覆い、冷気の壁を作ることによって庫内温度変化の波を抑える「雪温」保冷库は、温度0℃湿度95%近傍で一定の雪中環境を再現できます。当研究部会では、この技術を活かし、「雪温」保冷库中に人参を長期間熟成保存し、甘味や旨味が向上した熟成野菜の研究開発を行いました。

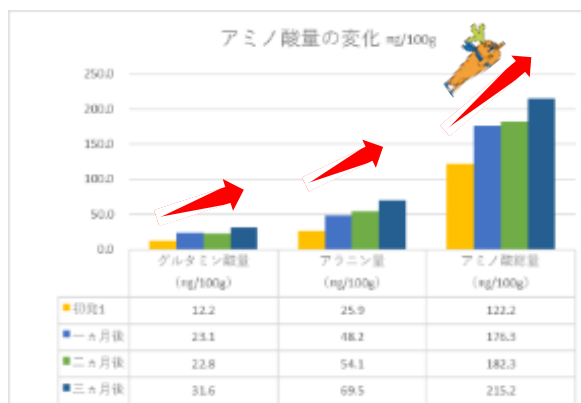


「雪温」保冷库



「雪温」保管中の人参

熟成野菜の検討は、(株)中温にて利用の多い人参を用いて行いました。「雪温」保冷库内に保存した人参に対して、一カ月おきに旨味(アミノ酸)を測定し、「雪温」熟成の可能性について研究しました。



五検体ずつ一カ月毎に、三カ月までのアミノ酸の平均値を測定した結果、グルタミン酸(旨味成分)とアラニン(甘味成分)が上昇しており、アミノ酸総量も増加していました。僅か一カ月の保存でも大きな効果があり、新規商品化への大きな一歩となる結果となりました。

これまでの研究結果から雪温保冷库で長期保存する事で、遊離アミノ酸の増加が確認され、腐敗することなく熟成が進行していることが分かりました。今後は更なる長期熟成が可能か、ジャガイモやサツマイモなどその他の根菜類でも熟成が可能であるのか、検討して研究開発を行っていき、新規商品開発を行っていきたいと思います。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」

③「砥部焼デザイン・販路開拓」研究部会

「砥部焼デザイン・販路開拓」研究部会

器工房 巳 陶房Kibi 石本 達 器屋ひより
素器工房 三好 教代 窯業技術センター

これまでの砥部焼は、近隣店舗や砥部焼まつりなど地元での対面販売が主でしたが、スマートフォンやSNSの普及により積極的な情報発信を行うことで県外や海外への販路開拓が可能となるため、情報発信力の強化が重要になってきました。

そこで本研究部会では、若手陶芸家名が従来の砥部焼とは異なる新たな作品を制作し、今までにない展示会の開催、これらが発信するHPやECサイトの制作を行うといった、砥部焼の新たなビジネスモデルの構築に取り組みました。

展示会

価値を高めた砥部焼をHPで情報発信することを意識し、テーマ設定と会場選定を行いました。

◇砥部オーベルジュリゾート

高級レストランなどでの採用を目指し、ギャラリーのオーナーや料理人などを対象に、作品単体と料理を盛った器の両面で見ていただきました。



◇道後温泉ふなや

県外販路開拓のため、県外観光客を対象とし、一般の方に見ていただきました。



HP中に各種 SNS を
連動させて情報発信



HP



英語併記し
海外へ向けて発信

- 令和2年度は、作品制作と海外に発信する英語併記のHP制作を行いました。
- 令和3年度は、作品のブラッシュアップ、2回の展示会開催とその情報発信および、海外対応したECサイトの制作を行いました。
- 今後、HPを活用して積極的な情報発信を行い、海外を含めた販路拡大に取り組んでいきます。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」

④「タオル専用織機による多層織りアパレル生地」研究部会

「タオル専用織機による多層織りアパレル生地」研究部会

大磯タオル㈱ オリナススタイル㈱ 繊維産業技術センター

当研究部会においては、令和3年秋を目途に、多重織り技術を活かして、アパレル分野へ進出できる新ブランド立ち上げに向け、新たな製品に着手してきたところであります。

そこで本事業において、当社の多層織り技術を活かし多色を表現できる技法を確立し、アパレル分野という市場において新規開拓につながる主要製品の開発に取り組みました。



- 令和3年度においては、KIKIcocoブランドの立ち上げを行い、ブランドの核となるアパレル製品の開発を行いました。
- 令和4年度は、使用糸数並び色系の組み合わせを検討し本年以上の多色感のある製品を作成します。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」

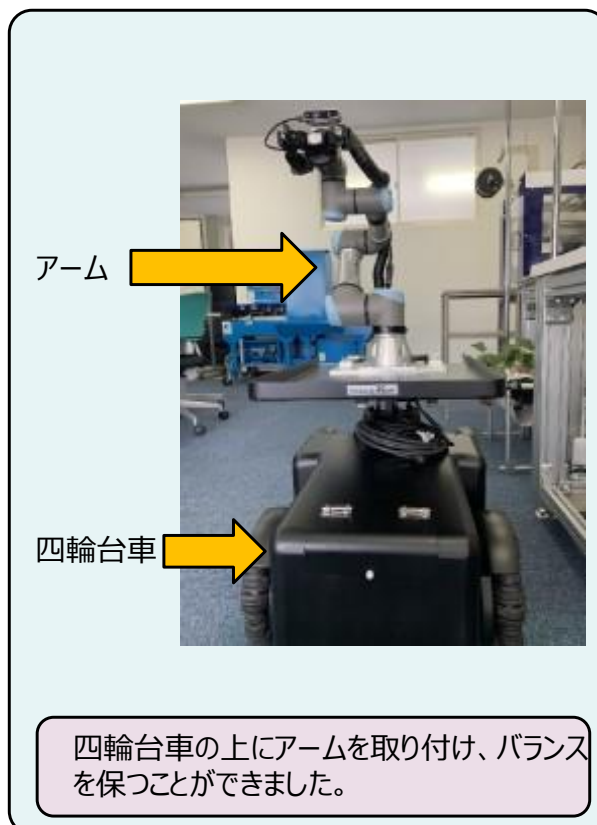
「電動台車とアームの複合制御」研究部会

株式会社ディースピリット、愛媛大学、愛媛県産業技術研究所

電動で走行する台車にアームを付けて、問題なく統合制御する技術の確立を目指しました。

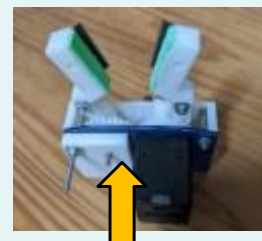
台車に取り付けたアームの位置制御は、通常の固定台に設置されたアームの制御とは異なり、台車の移動に合わせた位置決めを行う必要があるとともに、アームが動いた場合でも台車全体のバランスを制御する必要があるためこれらの問題をクリアするアーム付き電動台車の開発を行いました。

四輪台車へのアーム取付



いちごの収穫動作実験

いちご モーターで動くアーム



エンドエフェクター

開発したエンドエフェクターでいちごの収穫動作の確認を行い、いちごを掴むことができました。

実際の四輪台車の上にアームロボットを乗せることができました。また、並行してモーターで動くアームのエンドエフェクターを開発しました
R4年度はアームを動かしての制御とエンドエフェクターの改良に取り組めます。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」